



日の出住民会 草分住民会

町内のグループ・団体・町内会などが町長とさまざまなことを語り合う「町長と語り合」。

2月26日に日の出住民会の24人、28日には草分住民会の17人が農業や農村部を取り巻く問題をはじめ、上富良野町の特産物を町内外へどのようにPRしていくかなどを町長と熱心に語り合いました。

日の出公園の活用は？

●日の出住民会 日の出公園の利活用はどのように考えていますか？ 展望台まで

上げるのにスキリフトの活用や道路整備はできないでしょうか？

◇町長 町では、日の出公園を以前のようにラベンダーが咲き誇る公園として皆さんに満足してもらうため、3年かけて株の植え替えを行いました。近年では、足が不自由な高齢者への対応が求められており、車で展望台に上られるよう、早期に道路を整備しようと考えています。スキリフトについては股に挟むタイプから腰かけタイプへの変更を望む声もありますが、更新するには非常に大きな投資を伴うため難しい状況です。しかし、「観光」は町の産業振興の中で優先度が高いものですから、日の出公園整備はすばらしいものにしたいたいと思っています。

地区周辺の川の管理を

●日の出住民会 キャンプ場周辺の用水路が、大雨が降ると一帯にはらん

し、平成23年の洪水にはアパートの土台が削られたり、床下浸水もあった。以前から役場に対応を依頼していますが、どうなっていますか？

■北向建設水道課長 災害が発生し、町長の指示で改修のため動いていますが、町の財政が苦しく、国や北海道

2月26日の出住民会

の補助事業を検討してきたところ、平成26年に調査のめどが立ちました。

◇町長 優先順位的には、日の出地区の事業が急を要すると考えていますので、1年でも早まるように担当へ指示し、事業を行う北海道にも早期に実施するよう要望しています。

●日の出住民会 避難場所である日東会館の近くは河川のはららなど、被害が発生する場所にあります。そこ

で、日の出公園を複合的な避難施設として使えるようにできないでしょうか？ 高台なので安全だし、ヘリコプターも降りられるようにしてくれば安心して暮らせるのではないかと思います。

■林町民生活課長 総務課と協議のうえ、検討課題としていきたいと思っています。

地場産品販売で町を元気に

●日の出住民会 道の駅があれば、地場産品の販売促進ができるのでは？

■辻産業振興課長 町では販売所について、地場産品の販売だけでなく人が集まる場、地域の情報発信の場としても関心を持っています。昨今、農家の方の地元農産物を使った特産品の開発や直売も町内で広がりを見せているの

で、今後の動向によっては施設整備を積極的に考えます。

◇町長 私も3年前までは町を訪れる人に向けて町のPRをできるよう、見晴台公園に拠点を置きたいと考えていました。どこかに「あればいい」ではなく効果的な場所になれば十分に機能が見込め、夏場に集客を得られる場所に施設を置くことが重要となります。今後、予定されています高規格道路の整備計画などを見極め、情報発信の機能も含めて施設整備の考え方を示していきたいと思っています。

ウォーキングで健康増進

●日の出住民会 町の予算に余裕があればですが、日の出の基線道路と北27

号西道路の辺りに安全に散歩できる周回路があればいいですね。自分が高齢者になって、健康のためにそのような場所が必要だと感じてきました。

◇町長 町民の皆さんから富良野川の堤防をウォーキングコースにしてほしいという意見もあり、健康づくりの手段として大切なことですので、必要な整備は今後も検討させていただきたいと思っています。



町長と語ろう!

2月28日草分住民会

農地を守るために

●草分住民会 草分地区の河川内の立木、土砂上げについてですが、北28号仲道路は狭いところもあり側溝に車が落ちたり、除雪で砂利などが入り側溝の掃除も大変。付近の畑の表土も流入してきてしまうので、何とか対処はでき

きないでしょうか？

■北向建設水道課長 側溝の土砂上げについては優先順位が高いものから整備しますが、整備をしてもすべ土砂で埋まる個所もあるので、畑からの流出についても、併せて対策を考えます。

◇町長 ほかの地域では、中山間地域等直接支払制度を活用して土の流出の問題を食い止めた実例もあります。町では事業費を準備し、お互いに協力しながら進めたいと考えていますので、必要な場合はご連絡ください。

農産物に付加価値を

●草分住民会 上富良野も美瑛のように道の駅をつくり、特産品と町全体をアピールできたらと思う。今のままで物足りないですよ。

◇町長 町民の皆さんから町の特産品を扱ったアンテナショップがあればいいという声をお聞きます。私もそのような場所販売し、「農産物に付加価値をつけて産業の活性化を図る」とことは重要な課題だと思っています。

また、施設をつくることは可能ですが、将来も安定した活用には見極めが重要です。

●草分住民会 地元の人でも地元の野菜を買ったことがなかなかできないし、町を通りかかった人が豚サガリなどの地元の名産品を簡単に買えるような施設があればやっぱり便利だと思う。6次産業化に取り組んでいるところもあり、見晴台公園に野菜などの特産品をもっと置けばいいPRになるので、力を入れてほしいです。農家としても、経営形態の選択肢が増えることにもなります。

自治体活動への支援は？

●草分住民会 70歳代が多くおり、健康のために住民会で「ふまねっと運動」を取り入れようと7人が指導者研修を受けました。必要な用具を準備するため、町で援助していただけませんか？

■林町民生活課長 平成19年度から実施している自治体活動奨励補助が利用できます。ほかの自治会でも利用してふまねっと用品や会館のいすなどを購入していますので、ぜひ利用ください。

PPP問題を知ってもらう

特に、冬季の農産物の生産は難しく、保存を含めて通年供給できる仕組みがあればいいと思います。今年度、セントラルプラザ横の公園に常設テントを設けて、町民の皆さんが集える拠点づくりをしたいと考えていますので、ぜひ活用していただきたい。

●草分住民会 PPP問題で、農業に携わっている私たちには情報が入ってきますが、町民の皆さんの理解が浅く感じます。「PPPは悪いこと」と強調されがちですが、良い部分、悪い部分などを分かりやすく知らせてほしいです。

◇町長 町ではPPPに反対していませんが、農家以外の方は実際はどついてものか理解されていないと思います。町の将来を守るためにも町民の皆さんに知らせることは必要だと考えていますので、適切な時期に広報できるように調整していきます。

今回の意見交換を通じて、向山町長から「もっとこのような機会を設けて、直接皆さんから意見を伺いたい」との話がありました。
町民の皆さんの意見を直接町政に反映できる貴重な機会ですので、この事業を積極的に活用ください！

問合せ 町民生活課自治推進班

☎09085